

冒頭あいさつ/終わりのあいさつ(第15回定時総会)

冒頭あいさつ

7月も残りわずかですがまだ梅雨が明けません。過去にこれだけ太陽を見ない日が続く期間はなかったのではないかと思います。全国で豪雨による被害がある中、日々不安を抱えながら過ごしている人が大勢います。一日も早い復興を願っています。また、新型コロナウイルス感染症拡大によって、みなさんが多くの場面で苦勞し我慢をしています。こういう時だからこそ、みなさんと力をあわせ、支えあっていけたらと考えています。

コミュニティ・ユース・バンク momo としては「momo みんなで助け合おうプロジェクト」をこの春から取り組んでいます。出資金の払い戻しにできるだけ速やかに対応し、融資先の返済計画の見直し、過去の融資先限定で運転資金について低金利で融資するなど、少しずつながら取り組んでいます。

今回第15回定時総会は、役員など必要最小人数のみが集まり、正会員のみなさんとはオンラインでお会いするという形で開催することとしました。決議に際しては、あらかじめ書面表決や委任によってお願いしました。あらゆる方法を理事会等で検討しましたが、今回のやり方に納得されない方もいらっしゃるかと思います。今後に向けて本日意見をいただきながら検討してまいります。本日はよろしく申し上げます。

代表理事：鈴木雄介

終わりのあいさつ

momoには創業期よりお父さんの的な役割で関わってきて、現在は1児のお父さんとして活動に関わっています。専門が環境ということで、いま住んでいる豊田市では1980年から3年間の最高気温の平均とここ最近の平均を比べると5℃も違います。当時35℃を超えることはほとんどありませんでしたが、気候は変わってきています。

金融においてもmomoをはじめた頃は貸し剥がしや貸し渋りなどさまざまな社会問題を経て変わっています。momoの場合は、自分たちの手の届く範囲で融資を行い、これまで貸し倒れすることなくおかげさまで15年続けられてきました。この15年を十分に振り返っていませんが、現在の体制においては、「momo レンジャーの活動をもっと充実できるようにしよう」「事務所などの固定費をどこから捻出しなければならぬ」ということで、損失準備金(貸付金利息)を活動に充てることを決めた大事な年になりました。適宜その運営方法については見直し検討を行ってまいります。

momoのいいところは、出資をするだけで永続的に応援をしているという立場になることができます。なので「出資しているけど、あとは関わってなくてごめんなさい」ということは思いがなく、ずっと関わっている支援している姿勢になりますので、私たちとしては大変ありがたい支えとなっています。つながってくださり、ありがとうございます。こういう場を続けていくとともに融資先の活動を発信してまいります。

副代表理事：坂本竜児

